ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度 その他河川 東川 通常砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No．4	調査位置	広島県豊田郡大崎上島町木江			北緯	34° 14’ 25.8608″
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所			調査期間	平成 29年 2月 17日 ～ 29年 2月 18日	東経	132° 54’ 49.9597″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	69.18m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 17°	使用機種	試錐機	D1-B48（東邦地下）	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	7.00m								エンジン	NFD-13（ヤンマー）	ポンプ	BG-3C（東邦地下）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1										2/18 0.60	1.15	5	5	3	13／30	13							
2											1.45												
											2.15	3	3	4／1	10／21	14.3							
3											2.36												
											3.15	5	6	6	17／30	17							
4	64.93	4.25	4.25		礫混じり粘土	暗黄褐		硬	表層20cm，植物根を含む 崖錐堆積物 含水小，粘性中位。全体に砂分を混入する。 φ50mm以下の角礫が点在する。礫種は周辺山体を構成する粘板岩。		3.45												3/17
											4.15	6	9	16	31／30	31							
5	63.68	1.25	5.50		風化粘板岩、軟岩I	暗黄褐	極密		粘板岩の風化帯 芯部まで風化が進み，土砂化が著しい。 礫～小岩片状コアで採取される。 DH級，軟岩Iに区分		4.45												
											4.95	50／9			50／9	66.7							
											5.04												
6	62.18	1.50	7.00		粘板岩、軟岩III	黒灰			コア長L=5～10cm程度の短棒～岩片状コアで採取される。 岩質は概ね堅硬緻密。珪質脈，片理は30度程度 CM級，軟岩IIに区分		6.00	貫入不能			50／0								
											6.00												
7											7.00	貫入不能			50／0								3/18
8											7.00												
9																							